

What's New?

マンション管理員検定協会設立 公的資格目指し“管検”スタート

(公社)マンション管理員検定協会(東京・日本橋、日下部理絵理事長)は10月30日、東京・春日の文京シビックホール26階スカイホールで設立記念フォーラムを開いた。

試験の概要は下記の通り。

初回実施：平成23年7月31日

(年2回・1月と7月に実施)

検定料：8,900円

試験会場：全国主要都市

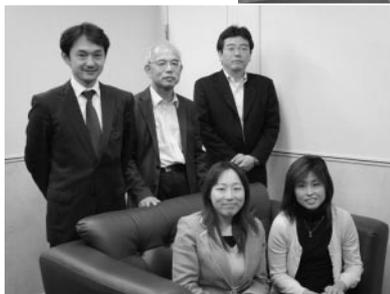
(札幌・仙台・東京・大阪・福岡)

問い合わせは 事務局：

☎03-6231-1620 info@m-kanken.or.jp

http://www.m-kanken.or.jp

10月30日、設立記念フォーラムの様子。検定試験の合格者には成績順を3区分し、協会認定の合格証が発行される



前段左から日下部理絵理事長、中山美穂理事長。上段左から宮田浩志理事、木村孝理事、竹内敬雄理事。税理士、司法書士、宅建主任者、不動産鑑定士、マンション管理士などの資格を持つ理事で協会を構成している

カード de コミュニケーション マンションコミュニティ研究会

本紙10号で紹介したマンションコミュニティ研究会(廣田信子代表)がすすめる「カード de コミュニケーション運動」の取り組みが昨年11月23日夕方のNHK首都圏ニュース、28日午前6時からのNHKニュースに「年賀カードで近所づきあいを」というタイトルで取り上げられた。

コミュニティーの中で、ちょっとしたあいさつの言葉で、気持ちを伝え合うコミュニティー・カード(=写真)。普段はなかなか話をする機会がない隣人や上下階に「カード」で気持ちを伝えることができれば、良好なコミュニティーが生まれ、

コミュニティー・カード(例)



近隣トラブルや近年では孤独死の問題などを未然に防いだり、防犯に役立てることもできるかもしれない。

写真の「カード de コミュニケーション」の考え方や使い方、コミュニティー・カードを盛り込んだ冊子は1部200円。試してみたいという管理組合にはモニター制度もある。

詳しくはマンションコミュニティ研究会カード運動事務局
E-mail: mckhug@mckhug.com ☎044-752-8037

修繕工事の表彰制度を創設 マンション計画修繕施工協会

(公社)マンション計画修繕施工協会(MKS・坂倉徹会長)は今年度から、「Mansion Creative Reform賞」を創設する。

対象：修繕工事の施工者、現場担当者、設計・監理者、管理組合

表彰内容：入賞3件(うち大賞1件)

募集期間：平成23年2月1日～2月25日

選定基準：①現場体制(作業員教育等)に関する新しい取り組み

②工法、材料に関する新しい取り組み

③居住者対応に関する新しい取り組み

④長命化に寄与する取り組み

◇ ◇

また、同協会は22年度事業の一環で、「マンション計画修繕関係法令マニュアル」(=写真)を作成、発行した。

法令尊守が当たり前のように求められるようになっている状況で、さまざまな法律知識が必要となるマンション改修業界においても、修繕工事の関係法令を整理し、まとめたもの。建設業法から区分所有法まで、あらゆる関係法を網羅している。

問い合わせは

事務局 ☎03-5512-2798

http://www.mks-as.net



「コンサルタント選定マニュアル」発行 NPO日住協

NPO日住協は国土交通省の平成22年度「マンション等安心居住推進事業(相談体制整備に係る事業)」で採択された事業の一環として昨年12月、「マンション大規模修繕 設計監理方式の導入～コンサルタント選定マニュアル～」(=写真)を作成、発行した。編著者はNPO日住協のハード部門の相談体制を支えるマンション・ユニオン保全設計協同組合。

内容は、マンションの維持管理や調査診断のあり方から、コンサルタントの必要性、役割、条件、選定のポイントなど。最後にはコンサルタント導入に関する成功事例とともに問題があった事例を紹介している。

問い合わせは

本部事務局 ☎03-5256-1241

http://www.mansion-kanrikumiai.or.jp

